みどり

かみこあにむら
議会だより

第 155 号

発行　平成27年11月10日

編集　議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会
TEL 0186（77）2226
FAX 0186（77）2227

【学校祭／風の十夢（とうむ）・小学校5年生の劇】

９月定例会

Ｐ２　一般会計ほか８会計
Ｐ３　一般会計決算のあらまし
Ｐ４　人事案件
Ｐ５　常任委員会付託議案
Ｐ７　２７年度補正予算
　　条例改正・陳情
Ｐ９　一般質問　３氏が登壇
Ｐ12　編集後記

小林村長の行政報告（本会議）

一般会計ほか８会計

各会計ともに黒字を堅持

９月１日から11日までの11日間にわたり開かれた第５回定例会では、平成26年度各会計など20案件を審議し、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。

一般質問では、農業の振興策、職員の人事、雇用の確保、コミュニティセンターの運営・管理など、３人の議員が４項目について問いました。

また、空席であった副村長と監査委員の人事案件が提出され、無記名投票の結果、賛成多数で同意しました。

●決算の概要

26年度の一般会計決算は、歳入27億6663万8千円、歳出26億8010万4千円、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支額は8560万5千円の黒字決算となりました。

決算規模を前年度と比較すると、歳入では2億2844万9千円、歳出では2億3071万8千円と共に増額となり、前年対比で歳入歳出いずれも109％台で、前年度を上回る決算額となりました。

●財政運営の状況

経常的収入のうち一般財源は16億5692万2千円で、歳入総額の60・3％、前年度より8268万2千円の減となっております。

その主なるものは、地方交付税の減額によるものです。

経常的な歳出のうち、一般財源は14億8289万7千円で、歳出総額の55・7％となっております。

平成26年度　上小阿仁村各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越財源	実質収支額
一般会計	27億6663万8千円	26億8010万4千円	8653万4千円	92万9千円	8560万5千円
特別会計	16億4791万1千円	16億3894万4千円	896万7千円	0円	896万7千円
国民健康保険事業	4億4838万1千円	4億4345万4千円	492万7千円	0円	492万7千円
国民健康保険診療施設	1億3477万2千円	1億3477万2千円	0円	0円	0円
特別養護施設	3億3990万円	3億3803万9千円	186万1千円	0円	186万1千円
簡易水道事業	1億2027万円	1億1826万8千円	200万2千円	0円	200万2千円
農業集落排水事業	6439万2千円	6439万2千円	0円	0円	0円
下水道事業	4233万8千円	4233万8千円	0円	0円	0円
介護保険事業	4億5921万2千円	4億5910万3千円	10万9千円	0円	10万9千円
後期高齢者医療	3864万6千円	3857万8千円	6万8千円	0円	6万8千円
合計	44億1454万9千円	43億1904万8千円	9550万1千円	92万9千円	9457万2千円

平成26年度 一般会計決算のあらまし

総務費

●秋田県町村共同電算化事業
4268万1千円
秋田県内全12町村加入による共同電算システムの運用を図った。

●役場駐車場舗装改良工事
708万8千円

●IP告知システム保守業務委託
1069万2千円
こあに電話の保守業務を行い、安定的運用を図った。

●KAMIKOANIプロジェクト秋田2014開催負担金
1950万円
プロジェクト開催実行委員会への負担金。

KAMIKOANIプロジェクト2015　クロージング（八木沢番楽）

●道の駅の管理委託料
572万2千円

●集落振興交付金
308万円
村民と村の協働による地域社会の形成と集落の振興を図るため交付した。

●生活バス路線維持費
1378万5千円
生活路線バスの赤字対策として補助し、バス運行の維持に努めた。

民生費

●臨時福祉給付金
1103万5千円
消費税引き上げに伴い、国の暫定的・臨時的な措置として、801人に支給された。

衛生費

●塵芥処理事業
1628万1千円
ごみ処理を北秋田市クリーンリサイクルセンターへ委託した。

●し尿処理事業
687万4千円
北秋田市周辺衛生施設組合に対し、人口・搬入割合に応じて負担した。

農林水産費

●農地・水保全管理支払交付金
1311万2千円
共同活動を通じ、各集落の農地・農業用水等の資源や農村環境の保全を図った。

●中山間地域等直接支払交付金
1043万6千円
中山間地域における生産条件の不利な団地の農地に対して、収益の向上や環境整備を図る目的で交付された。

●野外生産試作センター管理費
1897万7千円
（生産物売払収入220万8千円）

最盛期を迎えた稲刈り（9月25日・大林地区）

土木費

●道路維持工事
221万4千円
村道のうち118箇所について穴埋めを実施した。

●除雪委託料
6159万9千円
冬期間の交通確保のため、生活道路を中心に113路線、51・5㎞を実施した。

●社会資本整備総合交付金事業（菊桜岱橋補修調査設計業務委託料）
712万8千円
（国費498万9千円）

●社会資本整備総合交付金事業（小袋岱橋補修工事）
4023万4千円
（国費2810万円）

消防費

北秋田市消防本部　通信指令センター
（今年１月より運用開始）

●北秋田市への消防事務委託
1億582万6千円

●救急救命士養成費負担金
295万1千円

●消防デジタル無線整備工事負担金
1631万1千円

教育費

●上小阿仁小中学校太陽光発電設備工事
4098万8千円
公共施設再生可能エネルギー等導入事業補助金（4003万6千円）を活用し、災害時の防災拠点として整備した。

●小中学校体育館更衣室改修工事
278万6千円

●生涯学習センター太陽光発電設備工事
3168万5千円
公共施設再生可能エネルギー等導入事業補助金（2915万9千円）を活用し、災害時の防災拠点として整備した。

●上小阿仁村学校調理場厨房機器設備工事
2640万6千円

災害復旧費

●農地農業用施設災害復旧工事
2617万4千円

●林道施設災害復旧工事
1702万8千円

●公共土木施設災害復旧工事
696万6千円

年度別不納欠損額

	26 年度	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度
村　民　税　①	34.8 万円	33.4 万円	57 万円	11.4 万円	7.1 万円
固定資産税　②	71.5 万円	132.2 万円	88.4 万円	77.3 万円	86.7 万円
軽自動車税　③	3.7 万円	3.8 万円	3 万円	1.5 万円	1.2 万円
村税計　①＋②＋③	110 万円	169.4 万円	148.4 万円	90.2 万円	95 万円
国民健康保険税	78.3 万円	223.6 万円	163.3 万円	197.3 万円	159.9 万円

人事案件　2件

副村長に鈴木壽美子氏、監査委員に鈴木孝明氏

空席となっていた副村長、監査委員の人事案２件が提案され、９月11日の本会議で無記名投票により、賛成多数で同意しました。

●監査委員の選任【同意】

鈴木　孝明　氏
（昭和２９年３月２日生）

●副村長の選任【同意】

鈴木　壽美子　氏
（昭和２７年９月２２日生）

平成27年9月定例議会 常任委員会付託議案 決算審査に350件の質疑・意見

本会議最終日での委員長報告

9月定例会

時効前の対応強化と適正で公平な徴収を

総務産業常任委員会に付託された議案について、9月2日から7日間審査しました。

決算審査にあたっては、350件の質疑、意見が出され、審査過程における要望をとりまとめ、当局に対して文書で回答を求めました。

その内容は、次のとおりです。

決算認定議案

不納欠損処分、国保税ほか未収金について

毎年のように多額の未納金を処分しているが、その内容が不明確であり、徴収率を上げるための欠損としか思えない。併せて国保税1068万6千円の滞納繰越をはじめ、合計で3965万6千円の未納があり、適正で公平な徴収を実施し、個々の実情を踏まえながら法令等に基づき、滞納処分を実施するなどして確実な徴収に努めてもらいたい。

▼答弁　不納欠損については、上小阿仁村徴収金処分審査委員会を開催し、法令に基づき欠損しておりますが、納税している人との公平性も考慮し、納税力のある人からは、確実に徴収していくように努めてまいります。

**　また、未収金については、各課が連携し、臨戸徴収を強化していくとともに、個々の状況を調査し、法令に基づく滞納処分や秋田県滞納整理機構に相談しながら、未収金の回収に努めてまいります。**

ホームページの更新について

現在、村のホームページで更新等されていないものもあるので、産業や観光、行政情報など集客につながるよう、リニューアルも含めて検討してもらいたい。特に、審査過程において説明された「電脳管理人」の情報通信技術についての研修も重ね、ホームページの更新、魅力ある村の情報発信に取り組んでほしい。

▼答弁　ホームページは村の顔でもあり、更新については各課・施設で注意を払って最新のものにするようにいたします。

**　また、内容等についても、他市町村のホームページも参考にしながら、電脳管理人を中心に検討し、情報発信に努めてまいります。**

かみこあに保育園の運営について

正職員の2倍以上の臨時職員で運営されているが、臨時職員も保育士の資格を持ち、同じく保育業務を行っている。職員間に対して不公平を感じられる。村の将来を託す大事な子どもたちを預かる保育園であるので、事故など起きないように対応を求める。

かみこあに保育園運動会（9月12日）

▼答弁　現在の保育園の職員体制は、正職員４名、臨時保育士４名、臨時保育補助２名、臨時調理師２名の計12名となっております。

賃金は、上小阿仁村臨時的職員任用管理規定により、基本賃金が規定されており、保育士が７２００円、保育補助及び調理師が日額６４００円となっております。

また、資格加算として、保育士資格を有している人には５００円、調理師免許を有している人には１００円加算されております。

村の大事な子どもたちが、安心して通園できるよう、職員体制については今後検討し、現職員には研修会等に積極的に参加させ、保育の質の向上と、園児の事故防止に努めてまいります。

診療所の健全運営について

村民の健康保持に必要な医療を提供する目的で設置された特別会計であり、単なる企業性を追求するものではないが、近年、医科診療収入が激減しており、今後においては、健全経営とあわせ訪問診療なども視野に入れ、検討してもらいたい。

▼答弁　患者数の減少による収入減については、村としても危惧しているところであります。

健全経営や訪問診療などについても、今後、議会とも協議しながら検討してまいります。

職員のスキルアップについて

各職域や全職域の各種研修を強化し、地域づくりへの取組・姿勢、事務の改善等につなげてほしい。また、村民や利用者等への対応力、サービス向上をさらに図るべきである。

▼答弁　職員のスキルアップについては、議会からご指摘を受けているところであり、住民対応のための「接遇マニュアル」を確認させましたが、住民からのご批判も多いので、対応について指導してまいります。

また、県自治研修所での研修については受講させておりますが、自主研修の部分について積極的になされていないのが実態であります。今後、自主研修についても、各課の業務体制を工夫しながら、研修ができる環境づくりに努めてまいります。

杉風荘の民営化計画について

民営化の計画については、杉風荘の職員や関係機関との意見を聞く機会を持つことは大変重要なことである。正職員と臨時職員との賃金形態や勤務内容を十分考慮し、早期に計画を示すべきである。

▼答弁　杉風荘の民営化計画については、平成26年度で条例が否決となって以来、動きが止まっております。

民営化は早急に行わなければならないと考えておりますので、再度職員によるプロジェクトチームを立ち上げて検討してまいります。

また、有識者による民営化実施審議会についても、委員の選考も含めて再度設置し、ご審議いただくよう進めてまいります。

今後、議会とも協議を重ねて民営化に努めますのでご理解をお願いいたします。

杉風荘敬老会（9月17日）

平成27年度　補正予算

一般会計

平成27年度一般会計補正予算は、2億3148万5千円を追加し、予算の総額を25億36万2千円にしました。

歳入の主なものは、地方交付税や村債などの増によるものです。

歳出の主な内容は、次のとおりです。

国から平成28年度までの策定を求められている計画で、公共施設の老朽化、人口減少等により施設利用需要の変化を踏まえ、長期的視点に立ち、総合的かつ計画的管理を推進するためのものです。

●国際交流費（萬巒郷訪問団経費）
295万円

●財政調整基金積立金
1億4031万4千円

●減債基金積立金
6000万円

●通知カード・個人番号カード関連事務委任委託料
92万円

●国民健康保険事業勘定特別会計操出金
△246万6千円

●国民健康保険診療施設勘定特別会計操出金
1013万4千円

●介護保険事業特別会計操出金
476万3千円

●健康推進車購入費
△225万2千円

秋田県市町村総合事務組合より電気自動車が寄贈されることから減額するものです。

●造材事業委託料
143万2千円

●庁内ネットワークマイナンバー対応業務委託料
189万円

●秋田県町村電算システム共同事業組合負担金
802万4千円

マイナンバー制度の施行に伴い、庁内システムを構築するもので、システム改修分の負担金です。

●公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料
162万円

多々羅十二ノ沢線・災害復旧工事の現場視察

特別会計

特別会計補正予算は、6つの特別会計で総額1億5766万4千円を追加。補正後の総額を17億6137万6千円としました。

南沢字砂子渕地区間伐予定地を視察

条例改正

マイナンバー法に対応

■上小阿仁村個人情報保護条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、規定の整備をするためです。

申請すると交付される個人番号カード

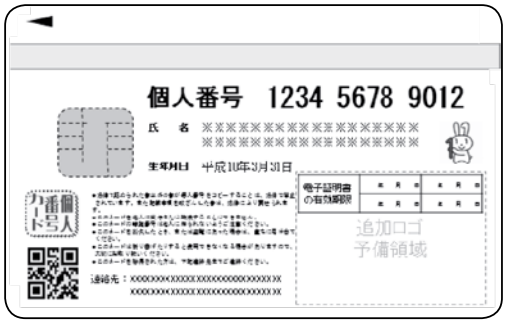
■上小阿仁村手数料条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再発行手数料を定めるものです。

見本

表→

←裏



■上小阿仁村と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する規約の制定

上小阿仁村が秋田県に対し、行政不服審査会に関する事務を委託するものです。

陳情 3件

9月定例会では、3件の陳情を審査しました。

採択しました

●「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出についての陳情

提出者
秋田県商工団体連合会
婦人部協議会会長
小玉　智子

●マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情

提出者
秋田県商工団体連合会
会長　小玉　正憲

不採択しました

●外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

提出者
行橋市議会議員
小坪　慎也

意見書 2件送付

各陳情の採択に伴う意見書2件を議員発議し、本会議で可決。関係機関に意見書を送付しました。

▼所得税法第56条の廃止を求める意見書

【意見書提出先】
内閣総理大臣
法務大臣

▼マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書

【意見書提出先】
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣

質問

若い農業者が将来展望の持てる農業を

農地の集積化、余剰労力で所得向上を

村長

【齊藤鉄子議員】

齊藤議員　アジア太平洋地域の12カ国で自由貿易圏をつくる環太平洋連携協定（ＴＰＰ）が合意に至れば国内農業への影響は避けられない。特に、中山間地帯の我が村にとって計り知れない影響が出てくると思う。国では、攻めの農林水産業を掲げ、６次産業化や海外展開を柱に掲げ、成長産業を目指しているが、上小阿仁産ブランドとして農産物を売り出してみてはどうか。米の輸出の可能性や施政方針で述べている基盤整備について伺いたい。

村　長　村では、本年度から元気な中山間事業に取り組み、８月24日に認定農業者及び各水利組合長を対象に農用地利用情報交換会を開催した。これは農家の作業効率を図るため、点在している農地の集積化図り、区画の拡大や圃場整備によって給水パイプ等による自動制御や圃場の遠隔監視等による余剰労力を水稲以外の作物等に投下することにより、所得の向上を目指すものである。今後、農家の意向調査を踏まえて進めてまいりたい。

　併せて、冬季の野菜等が無いため、周年出荷できる施設栽培体制を構築し、生産から加工販売までの６次化に対して、村独自の嵩上げにより積極的に支援し、将来展望が持てる村を目指したい。

　輸出米等については、台湾への青年研修の際に、上小阿仁産の白米をお土産として持って行っており、食べていただいている。将来、台湾での消費量が伸びるためにもブランド化は重要だと考えている。

齊藤議員　あと２年後に減反廃止となるが、生産条件の不利な地域でも、減反としてカウントされていたため、農地の管理もされ、貸し借りも上手くいっていた。しかし、減反廃止を踏まえて、そのような沢部の農地は地主に返還され耕作放棄地が増える可能性がある。中間管理機構も借り手のない農地は受けないと言っているが、村としての方策は。

村　長　出来れば耕地として利用していただきたい。水稲が駄目なところは大豆、山菜へと転換していただきたい。野外センターでも色々試験をしているが、山野草なども検討していきたい。耕作放棄地にならないよう、山林にならないように今後対応していきたい。

地域環境保全隊による水路の草刈作業

質問

木・山を動かし雇用の確保…実行するためのプログラムとは

【大城戸ツヤ子議員】

職員の人事異動について

大城戸議員　①5月の就任以来、初の人事異動は7月17日付けであったが、人事異動の基本的な基準があるのか。

②職員の定員管理計画上では目標を達成しているが、老人ホームは退職後採用なし、教育委員会は昨年に比べ1人減、臨時職員で対応しているが、定数は足りているのか。

③職員の昇任基準は。

村長　①通常であれば4半期毎の方が区切りがいいと考えるが、選挙後の対応ということで執行部体制が上手くいかなかった部分があり、このような対応となった。

②実際の職員数は76名で、14名少なくなっており、これを補うために臨時職員を雇用させていただいている。

③平成23年4月18日の職員労働組合との労使協定に基づき、昇級の運用がなされており、昇級、昇格については、勤務成績を基に行っている。

大城戸議員　今、まさにKAMIKOANIプロジェクト秋田2015が開催されようとしている時、担当職員が代われば仕事の遅れも発生する。出鼻をくじかれるということは、こういうことではないか。

村長　人事については微妙な部分があり、村にとって大切なものは何であるか総合的に判断した。

林道等整備に係る補償費支給要綱等による山林所有者への支援

「木・山」を動かすための雇用の確保について

大城戸議員　村長の施政方針の中で「生活できる村づくり」があって、事ある毎に「山が動けば人が動く　人が動けば経済が動く　経済が動けば雇用が生まれる」。よく語られる一節である。また、ヨーロッパで開発されたCLT（直交集成板）について話されるが、村の森林・秋田杉はCLTの材料になるのか、木材の活用促進ということは、そういうことか。

①実行するためのプログラムとは。

②役場職員の理解度は。

村長　①林道専用道路を整備し、森林組合と連携を図りながら、山から木を動かす手段を構築したい。これまで搬出できなかった山林を対象に各集落への意向内容を取りまとめ、林道等整備に係る補償費支給要綱等による山林所有者への支援を図っていきたい。これから議会と相談しながら要綱等の整備を進め、併せて総合計画を策定することになる。

　国土交通省のCLT普及に向けたタイムスケジュールについては、基準の強化、設計法等の告示が来春に公布される予定。これに合わせてモデル導入を進めている自治体もあるので、CLTが実現化されると木材需要も活性化されると考える。

②施政方針等を含め、村長就任時にも職員に述べており、理解をしていただいていると思う。

大城戸議員　最近、県林業センターでは、若き林業技術者を募集しており、村でも資格取得に対する助成を行っているが、この職種は特に拡大し、若者に頑張って欲しいというメッセージをPRしてもらいたい。

村長　林業大学校の研修場所を本村にしてもらうよう、話しを進めている。若い人のために頑張らせていただきたい。

質問

村唯一の温泉施設　もっと売り込むべき

村長

山ふじ温泉のPRにSNSで発信

【北林義髙議員】

北林議員　①コミュニティセンターの営業時間が4月から変わり、午前10時から午後7時までとなったが、勤めや農作業を終えて来る方にすると、1時間早くなった事で温泉に入るのを諦める方も多いと思う。

村でひとつの温泉なので、今までのように午後8時までの営業時間に出来ないか。管理人の関係だとすれば始まりの時間を遅くすることも出来るのでは。

村長　時間延長を望む声も無い訳ではなく、利用者の方には不便をかけていると思う。時間を1時間短縮したのは、経費の削減を図るためであり、費用対効果を見極めて実施したものである。

現在、4人の管理人で運営しているが、公募してもなかなか応募がなく、管理人確保に苦慮している。管理人がもう2人確保できれば経費的に多くならないので、水曜の休館日も含めて検討していきたい。

北林議員　管理費の本年度予算に958万5千円を計上しているが、今まで指定管理していた頃より予算額が増えているように思う。

また、お客さんも減っているように思う。少しでも山ふじ温泉の利用者が増えるよう、売り込む必要があるのではないか。

村長　指定管理していた平成22年度と比較すると、管理賃金で約60万円、電気料で約20万円、その他10万円ほどの増となっており、経費の節減に努めていきたい。広告にも経費はかかるが、村の広報やホームページ、SNS（注1）等、経費をかけない形で広くたくさんの方々にPRしていきたい。

北林議員　村外から訪れる方に対し、分かりやすいPRをしていただき、相手の気持ちに立って対応してもらいたい。

村長　道案内等含めて、分かりやすい対応に努めていきたい。

送迎バスで山ふじ温泉を訪れる利用者たち

※注1　SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
「人とのつながり」を電子化するサービス。自己情報のコントロールや人との出会いといった目的を掲げ、各社がサービスを行っている。代表的なものに、ツイッター、フェイスブックなどがある。

○今後の定例会予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期（休会を除く日数）
12月定例会	議会運営委員会	平成27年12月８日	火	
	開会	平成27年12月15日	火	３日
	閉会	平成27年12月17日	木	

議会の動き

小阿仁川水系対策委員会

●**平成27年8月26日**
萩形ダム貯水池から阿仁川合流点まで6箇所の流況調査を実施しました。

●**平成27年10月8日～9日**
山形県・寒河江ダムの施設の概要や下流域の環境変化について視察しました。

寒河江ダム事務所前

野外生産試作センターを視察（エゴマの圃場）

議会を傍聴してみませんか

９月定例本会議の傍聴者は９人でした。

一部事務組合議会議員

衛生施設組合監査委員に佐藤議員
生活環境組合副議長に北林議員

７月27日、北秋田市周辺衛生施設組合定例議会が開催され、監査委員に佐藤真二議員が選任されました。

また、８月５日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例議会が開催され、副議長に北林義高議員が選任されました。

●**事務局人事（７月17日付）**

事務局長　田村秀幸（教育委員会事務局長より）

杉風荘施設長　小林雄幸（議会事務局長より）

編集後記

９月６日、小沢田地区、友生園を会場に「総合防災訓練」が実施されました。日本では、自然災害が多発しています。身近な防災訓練の必要性を痛感しました。

今年のお米の出来具合はどうでしょうか。価格については素直に喜べないと思いますが、台風などの被害もなく、ホッとしていることでしょう。

さて、議員になって6月・9月定例会が終了しました。補正予算・決算と、資料の厚さに驚きながらも見直しや改善策などの審議を重ねました。

村当局の足並みも揃いました。村の将来を本気で建設的な議論を重ね、活気あふれる場にしたいと思っています。（大城戸　記）

編集委員

委員長　北林　義高
副委員長　大城戸ツヤ子
委員　伊藤　秀明
〃　伊藤　敏夫
〃　武石　辰久